

テレタイムα-F(α-FM) 交換マニュアル

はじめに

テレタイムα-F(α-FM)の故障機と代替機を入れ替える手順についてご説明します。

入れ替え方法は以下の2つの方法があります。いずれかの方法でデータ移行をおこなってください。

- ・ USBメモリを用いてデータ移行をする方法
- ・ クロノスPerformanceと通信をしてデータ移行をする方法

・ USBメモリを用いてデータ移行する方法

故障機の画面操作が可能な場合、USBメモリを用いてデータの移行をすることができます。

詳細な手順につきましては、「テレタイムα_USBメモリを用いてのデータ移行」をご参照ください。

・ クロノス Performance と通信をしてデータ移行する方法

代替機にネットワーク設定（通信設定）をして、クロノスPerformanceから氏名等を送信することができます。

故障機が通信可能な場合、入れ替え前にクロノスPerformanceで「打刻データ」の取込みをおこない、

故障機の未送信打刻を0件の状態にしてください。

※代替機発送受付の際にネットワーク設定（通信設定）を伺ったお客様

ネットワーク設定（通信設定）を設定してある代替機を発送しているため、**手順3**から操作をおこなってください。

1. 故障機で通信設定の確認

以下の手順で[通信設定]画面を開き、IPアドレス等を確認してください。

※故障機の画面操作ができない場合、ネットワークを構築したご担当者様にネットワーク設定（通信設定）を確認してください。

- ① 時計画面の「メニュー」をタッチ



- ② マスターカードをかざし、「設定メニュー」をタッチ

※マスターカードがない場合は、
画面上部のロックアイコンをタッチ→
表示されたテンキーにパスワードを入力→
「確定」をタッチ→「設定メニュー」をタッチ



③ 「通信」をタッチ



「ネットワーク」が「有線 LAN」の場合

[通信設定]画面で、以下を確認します。

- ・ IP アドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ ゲートウェイアドレス
- ・ DNS サーバーアドレス
- ・ プロキシサーバー設定

※プロキシサーバー設定をされている場合は
以下も確認ください。

- ・ 認証なしの場合

プロキシサーバーアドレス、プロキシポート番号

- ・ 認証ありの場合

プロキシサーバーアドレス、プロキシポート番号、認証 ID、認証パスワード



「ネットワーク」が「Wi-Fi」の場合

[通信設定]画面で、以下を確認します。

- ・ SSID
- ・ パスフレーズ
- ・ IP アドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ ゲートウェイアドレス
- ・ DNS サーバーアドレス
- ・ プロキシサーバー設定

※プロキシサーバー設定をされている場合は
以下も確認ください。

- ・ 認証なしの場合

プロキシサーバーアドレス、プロキシポート番号

- ・ 認証ありの場合

プロキシサーバーアドレス、プロキシポート番号、認証 ID、認証パスワード



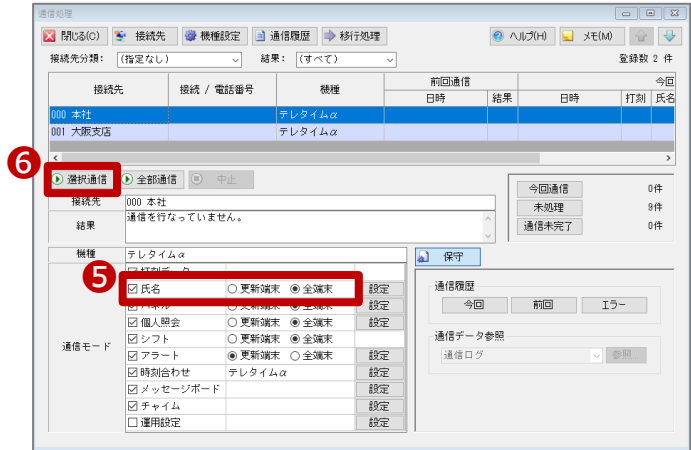
2. 代替機に通信設定を入力

故障機で確認した[通信設定]画面の内容を、代替機の[通信設定]画面に入力します。

3. クロノスPerformanceで代替機と通信

以下の手順で通信をおこない、運用設定や氏名を代替機に送ります。

- ① [日常処理]→[通信処理]画面で、
該当のタイムレコーダーを選択
- ② [保守]をクリック
- ③ [運用設定]にチェック
- ④ [選択通信]をクリック
通信が完了したら、[運用設定]のチェックを外す
- ⑤ [氏名]にチェックをして、[全端末]を選択
※[パネル]や[メッセージボード]などを
使用している場合は、それらにもチェック
- ⑥ [選択通信]をクリック



注意

手順②～④は、クロノスPerformanceで [運用設定] (テレタイムαの日替時刻や、打刻音の設定など) の登録をしている場合に必要な操作です。

手順③の[運用設定]右横にある[設定]から、登録を確認することができます。

登録がない場合は、代替機を操作して設定が必要な場合があります。

※通信が失敗する場合は、代替機に設定したネットワーク設定 (通信設定) に誤りがないかをご確認ください。

また、代替機の再起動をお試しください。解消しない場合は、サポート窓口へお問い合わせください。

4. 代替機で動作確認

カードをかざして打刻ができることや、画面表示 (パネル等) の内容をご確認をください。